

2018年度学年末 不合格成績照会方法について（学部のみ）

発表された成績が不合格評価（F・G・HおよびQ）であった場合に、その理由等について、事務所を介して科目担当教員に照会を行うことができます。申請方法・期間は以下のとおりです。

○ 申請方法

下記申請期間内に MyWaseda の申請フォームから必要事項を入力・登録してください。正常に登録が完了すると、Waseda メールに申請完了のお知らせが届きます。申請フォームの URL は成績発表時に別途メールにてご案内いたします。

○ 申請期間等

対象学年	申請期間
全学年	3月4日(月)9:00~3月5日(火)17:00

●申請方法に不明点がある場合等の事務所への問い合わせ期間は、上記の申請期間のうち**事務所開室時間内のみ**となります。

なお、文化構想学部夜間特別枠も事務所開室時間は9:00~17:00となりますので、注意してください。

○ 照会可能科目について

文化構想学部・文学部設置の秋学期・通年科目のうち、不合格評価（※下記参照）となった科目で、**不合格ではないと考えられる確固たる根拠(理由)がある科目**

試験欠席・レポート未提出・出席回数が総授業回数の3分の2に満たない場合など、明らかに不合格にあたる理由がある場合、照会はできません。

<文学学術院の不合格評価について>

評価	評価基準
F	出席状況は良好であるが、成績不良のもの
G	点数の如何にかかわらず、出席状況が不良のもの（原則として、出席が総授業回数の3分の2に満たない場合）
H	試験欠席等で評価できないもの
Q	基礎講義（再履含む）の不合格評価

●グローバルエデュケーションセンターなどの**他箇所設置科目は文学学術院事務所での取り次ぎは行いません**。照会の可否を含めて設置箇所に問い合わせてください（すべての箇所と同様の制度を設けているわけではありません）。

●**合格科目の評価**に関する問い合わせ等は一切受け付けません。

○ 教員からの回答について

申請期間終了後、約1週間~10日程度で教員から回答が届きます。教員から直接Wasedaメールに回答が届く場合と、事務所に文書で回答が届く場合があります。事務所に届いた場合は、Wasedaメールにてその旨を連絡をします。速やかに事務所に回答を受け取ってください。メールやFAXなどによる事務所からの回答の転送は行いません。

○ 申請が受け付けられない場合

「申請理由」に「救済措置を依頼するもの」「個人的事情の考慮を依頼するもの」などの懇願と見受けられる文言が含まれていた場合、教員への取次は行いません。「申請理由」には当該科目が不合格ではないと思われる理由のみを客観的かつ詳細に入力してください。

上記の理由等により申請が受け付けられなかった場合は、申請期間終了後に、その旨をWasedaメールにてお知らせします。その場合、再申請は一切受け付けません（申請期間中に事務所より上記の理由による受付不可の旨をお知らせすることはありません）。

申請期間内であれば、何度でも申請は可能ですので、申請理由の入力内容を訂正する場合は、改めて申請してください。

懇願と見受けられる文言の例

「進級・卒業がかかっている」「就職・内定が決まっている」「どのような追加課題でも取り組む」「就職活動/アルバイト/サークル活動/部活動で出席できなかった」

○ その他の注意事項

●担当教員へ直接問い合わせることはできません。

●上記以外の方法による照会ならびに期間外の照会はいかなる理由がある場合でも一切受け付けません。

●Web シラバスに掲載されている（もしくは担当教員から説明された）「成績評価方法」を改めて確認したうえで問い合わせてください。

●特に「F」評価に関する問い合わせを行う場合は、試験やレポートにおける自己評価（どの設問に対して、どのような論点で、どの程度解答できたため不合格ではないと考えるのか等）を詳細に記入してください。

申請理由として不適切な例

「出席回数も足りており、レポートも指定の方法で期限内に提出した。『F』評価となった理由を問い合わせたい。」

⇒「F」評価は原則として「成績不良」による不合格評価です。上記の例には試験・レポートにおける自己評価に関する言及がないため、申請理由としては不適切です。

●申請理由に入力した内容は原文のまま担当教員へ取り次ぎます。入力内容については十分注意してください。内容によっては、担当教員からの回答が行われない場合もあります。